

平成24年11月8日

PTA会員の皆様

東松山市立南中学校PTA会長 関口 純

第1回通学区域審議会とアンケートで頂いたご意見について

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。

さて、先月実施したアンケート調査では、519世帯のうち、308世帯の方から回答をお寄せいただき、116世帯の方からご意見を頂戴いたしました。皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。ご意見を参考にさせていただき、今後の審議会に臨んでまいりたいと存じます。

第1回目の審議会は、去る10月24日（水）に開催されました。2時間ほどの会議でしたが、初回ということもあり、委嘱状の交付、事務局からの説明、正副会長の選出等があり、話し合った時間は1時間ほどでした。その内容も、4校の校長先生などからの各学校の現状についてのお話があった程度で、本格的な審議は次回からとなりそうです。

審議会の開催回数について、予定では2回と示されておりましたが、中村幸一教育長も「最低でも3回は開催する必要があるようだ」とのことでした。通学区域が変更されるとすれば、早ければ平成26年4月からとのことでしたが、こちらも、まだ決定しておりません。

また、前回のお手紙で教育委員会からの説明について触れさせていただきましたが、審議会の進行状況を考えた場合、まだその時期ではないと考え、南中学校での保護者向けの説明会開催については未定とさせていただきます。

なお、第2回審議会は、11月21日（水）に高坂市民活動センターで開催されます。

【次ページからのアンケートの意見について】

☆ No. は、エクセルに入力した際に付けたもので連続していません。（意見なしの方もいるので…）

☆ 地区は、大きい区分の唐子地区、高坂地区、野本地区です。

☆ 教委の案について

第1回審議会の最後に示された事務局の変更案です。自治会単位の区切りで、A～Cまでの3つの案があり、内容は **A案** 毛塚自治会と西本宿第一自治会、**B案** A案に西本宿第二自治会と米沢自治会を加えたもの、**C案** B案に後本宿自治会と悪戸自治会を加えたものです。

従って [ABC] は毛塚と西一、[BC] は西二と米沢、[C] は後本宿と悪戸になります。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
0	高坂	ABC	いない	<p>これまでの教育委員会の方針は「過去のいきさつもあり、線引きは変更せずに白山中は小規模校の良さを生かした学校運営をしていく」とのことでした。高坂小については、児童数増加の時は3階テラスを教室に改装し、校舎西側も増築が可能と聞いておりました。今回の見直しの検討は、これまでの方針と大きく違い、戸惑いを感じます。</p> <p>現在の南中は、物凄く多い人数というわけではなく、ちょうど良い人数です。これからの何年間かは、高坂駅東口地区の開発により生徒数が増加しそうですが、長い目で見れば、ほんの一時期のことで、やがては少子化の流れの中、生徒数は減少していくことでしょう。</p> <p>高坂、唐子、野本の各地区は地域に根付いた家庭も多く、南中出身の保護者同士が懐かしい再会を果たすこともよくあります。市内広域での人と人が繋がる機会を大切に保つことは、将来は人口が減少し、財政も縮小していくであろう東松山市にとって大変重要なことだと思います。</p> <p>2月2日の教育長と4校のPTA役員との意見交換会のなかで、白山中会長より「クラス替えができる位で良いから生徒数が増えて欲しい」との意見がありました。この点については、高坂地区在住の方の中には「近くにある白山中に通いたい」と考える方もおり、現行の高坂小通学区域在住の方は、南中か白山中を選択できるようにすれば、白山中の生徒も増えると考えます。</p> <p>通学区域の線引きについては、過去のいきさつ、地域に住む人々の絆、想いや願いを考えると現行の通学区域を維持し、中学校は選択可能とするのが良いと思います。通学区域審議会では、予定されている2回の開催ではなく、ゆっくりと時間をかけて、様々な面から、より多くの方々の想いを大切に、そして、少子高齢化が進む東松山市の将来をも見据え、慎重に議論されることを望みます。</p>

意見 No. 0 は、PTA 会長関口が書かせて 頂きました。

No.	地区	教委の案	小学生以下の子	意見
3	唐子		いない	一時的な環境の変化で振り回されるのは子ども達だと思います。登下校時の防犯面や学習環境等を考慮し、子ども達にとって良い方法で進めて欲しい。
14	唐子		いる	子どもの人数の都合上、変更は仕方ないかも知れませんが、時期が難しいと思います。
15	唐子		いない	通学区域については、かなり前から検討されていたと思います。南中は各学年5クラスで人数的にも問題ないと思いますが、白山中は桜山小のみなので、かなり少人数。お手紙にもありました「クラス替えができる程度の人数」が望ましいかと思っています。桜山小、白山中の生徒数が増えるような対策を期待します。
19	唐子		いる	どこかしらにシワ寄せが来てしまうのは仕方ないことなのかも知れませんが、バランスを重視するならば歩み寄りが大事かも知れないですね。 途中で変更になってしまう学年があるならば、2ヶ所の学校を経験できる（誰もが経験できる事ではない経験）プラス思考で考えられると良いと思います。 あとは、子ども達へのフォローをしっかりできる大人の態勢もとても重要になると思います。
20	唐子		いる	高坂地区の方々のご意見を十分に検討して決めていただいたらよいと思います。
21	唐子		いる	我が家は近いので心配もうちわですが、神戸や高坂の奥のほうの方や野本の遠い方は、田んぼ道ばかりで街灯も十分ではありませんし、時間もかかり、さぞ毎日、心労をかかえてらっしゃる事と思います。配慮されます事をお願いしたいと思います。
24	唐子		いる	見直しは必要だと思います。 高坂小 ⇒ 白山中 or 南中 (選べると良いですね) 青島小 ⇒ 松山中 or 南中 (ビバホーム辺りも松山中ではなく、南中だと思いますが…)
29	唐子		いる	南中学校の通学区域は現行通りでお願いしたいと思います。

No.	地区	教委の案	小学生以下の子	意見
31	唐子		いる	南中学校の5クラスは、ちょうどいい環境だと思います。 高坂小の子たちで南中を希望する子が多くなり、急激に人数が増える事にも不安があります。 また、唐子小と高坂小との人数の比率の差が開きすぎることも不安があります。
35	唐子		いない	会長と同じ意見です。
37	唐子		いない	同じ東松山市内の学校なのだから有効的に使うべきだと思う。 子どもの通学距離のことも考え、今後の生徒数も変化があると思うので多面的に議論してほしい。
39	唐子		いる	現行通りでお願いしたいと思います。やはり部活動の運営に支障が出るのが一番気がかりです。 南中は部活動が盛んな為、その部活に向けてスポ少などで頑張っている子ども達もたくさんいると思いますので、高坂小校区の子ども達は自由選択できる方向でお願いしたい。 PTA 会長の意見に賛成です。
44	唐子		いる	子ども達にとって最善の方法を考えてあげるべき。学校生活を送るのはあくまでも親ではなく子ども達なんですから。
46	唐子		いない	ここ何年かの急速な少子化が、小学校、中学校に影響を及ぼすであろうことは容易に察せられる。 PTA 役員の方や教育委員会の方々が真剣に論議されていることをお知らせいただき、とても感謝し、また頼もしく思う。 きっと、子ども達や保護者にとって最善の策を捻出してくださると思う。 個人としては、お任せするのが一番良いように思う。
47	唐子		いない	時代に合った話し合いは必要だと思います。 少子化は、社会全体の課題なので、他校と共に考えないといけないと思います。
53	唐子		いる	変更の必要はないと思います。
54	唐子		いる	親としては、兄弟が同じ学校を卒業させたいと思うのではないでしようか。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
56	唐子		いる	<p>基本的に現在の通学区でお願いしたいです。ただ、それぞれのご家庭によって距離的な事などあると思いますので、選択できるというのであれば一番かと思いますが、東松山市内において、今回の白山中の生徒数の件が問題となっていますが、小学校においても道一本で青鳥小の方が近いのに唐子小へ通学といった事もあります。</p> <p>生徒数減少は、自然現象ですので、簡単にグレーゾーンを持ちかけてしまうのも他の通学区にも影響すると感じました。</p> <p>唐子小においては全員が南中へ進むため、特に考えた事はありませんが、グレーゾーンというのは、子ども達にとっても難しいと思います。</p> <p>それなら、安全面を考慮して、青鳥小や野本小の子ども達と同じように地図上で分けてしまうしかないのかなと感じました。</p>
57	唐子		いない	<p>部活は子ども達が選択できる数が必要。人数が減って、これ以上部活数が減ってしまう様なら選択幅が無く、やりたくなくても選ばなければいけない事になります。</p> <p>基本、全員入部が前提ですが、やりたい部でなければ（せめて、選択できる数が無ければ）5月GW明け、夏休みと、部活に参加しない子が多くなりそうです。</p> <p>人数が試合ギリギリの所は、それこそ大変です。</p> <p>これ以上の極端な人数減少は困ります。</p>
62	唐子		いない	<p>子ども達が安全に通学し、公平に教育を受けられる環境を整える。その為に、通学区域の見直しがされる事は良い事と思います。</p>
63	唐子		いる	<p>通学時間が短くなれば、勉強、部活にもより集中できるので、なるべく近くの学校へ行かせてあげたいものです。</p>
64	唐子		いる	<p>委員の方に、お任せしたいと思います。</p>
70	唐子		いない	<p>グレーゾーン対応可能で良いと思います。地区的に不便でなければですが。</p>
72	唐子		いる	<p>対象地区の家庭の意見を取り入れるべきだと思います。</p>

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
113	唐子		いない	PTA 会長からのお便りを読み、以前に配られたプリントに目を通しました。南中学校の生徒数は、ほどよい位だと思しますので、通学区は今まで通りで良いと思います。桜山小と白山中に自宅が近い世帯は、どちらか選べるのは良いと思います。
114	唐子		いる	ピオニウオーク周辺の方は、南中より白山中の方が近い場合は、そちらの学校に登校できるようにした方が良いと思います。近いのが一番だと思います。
115	唐子		いる	通学は近い方が良いと思います。通う方の選択で良いと思います。
116	唐子		いる	高坂地区の方々是非常に深刻な問題ですね。 兄弟のいらっしゃる方はバラバラの学校に行くのは大変だと思いますので、変えるのであれば時期を考え、段階的に進めたほうが良いと思います。 南中は人数が多くなり、活気も出るかと思いますが、東松山の中のバランスを考えると白山中への変更区が出てしまうのも仕方がないかも。
117	唐子		いる	部活動が廃部となってしまうたりするのは、子ども達にとっても大変な影響なので、その点を思うと急激な生徒数の減少は避けたいと感じます。今まで通りで、高坂地区は選択できるという方向で良いと思います。
118	唐子		いる	在学中の子ども達は、そのままです。
119	唐子		いる	グレーゾーンで対応するという形で、ベストだと思います。 遠い近いはあるけれど、実際通うのは子どもなので、いろいろな考えがあると思います。 (友達が行く、やりたい部活の有無、雰囲気など) 現在、野本小、青鳥小が…。あれ？選択制ではない…?? そう考えると矛盾してしましますが、選択する形が良いと思います。
120	唐子		いる	同じ市内の中学であれば選択制があっても良いと思います。逆にうちの方は東松山市と嵐山町の境にあり、菅谷中へ通った方が近いけど、市町村が違う為、どうにもならない現状があります。

No.	地区	教委の案	小学生以下の子	意見
121	唐子		いる	唐子地区なので通学区域が変わることはありませんが、南中の生徒が減ってしまうのは、部活の運営など心配があります。 自分が高坂地区で急に「桜山に…」と言われたら、古くなった桜山より、新校舎の高坂小に通わせたいと思うのが本音です。
122	唐子		いない	自分の子どもを近くの学校に通わせたいと思う気持ちは、みんな持っていると思いますので、入学する学校を各家庭で選択できれば良いと思います。
124	唐子		いる	通学区域については現行通りで子ども達の動揺が無いようにして欲しいと思います。 現状でも野本、青鳥の子ども達は小学校卒業で友達と別々の中学になり戸惑うという話も耳にします。 南中、白山中を選択するという意見も、生徒数のばらつきが出るのでは、とも思います。 私達の学区では、特に変更が無いとは思いますが、子ども達の生活環境がより良くなりますよう、お願いいたします。
129	唐子		いる	良いと思います。 通いやすい＝家から近いというのが、子ども、そして親も、より安心して通学させられるかと思えます。
243	高坂		いない	手紙にあった高坂地区の子どもは入学時に南中か白山中かを選択出来る様にすれば良いと思います。
244	高坂		いない	5年10年先を考えて通学区域の変更を検討願います。 また20年後に通学区域変更がおきないように…。
245	高坂		いない	うちには、小学生の子どもは、もういないのですが、これからの事を考えると通学区の変更には、どちらかという反対です。 高坂小の児童増加は一時的なものだと思います。ピオニウオーク周辺の家の子どものが大きくなった時、高坂小の児童数は、また減ってしまうのでは…。
306	高坂		いる	現在小学生のいる世帯、これから小学校に通う予定の子がいる世帯の意見を十分に聞いて、市、学校、住民全体で考えた方が良いと思う。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
246	高坂		いる	通学区域が二校のちょうど中間地点、もしくは境界線近辺の子ども達においては、二校のうち、どちらか通いやすい方を選択できるような配慮があれば良いと思います。大型車の通行が多いルートを通るので避けたい、兄弟で同じ学校が良かった等、その他理由も発生することがあると思いますが、特に境界線辺りの子ども達は、近い学校ではなく遠い学校に通わないとなくなるとなる等、がある為、配慮下さい。
247	高坂		いない	南中の中では、どちらでも良いと考える方が多いのでは？ 一番の問題は白山中の人数減だと思いますので、白山中の方へ増やす形で強く希望すれば、どうしても嫌という人は少数派ではないかと思います。
248	高坂		いる	会長の記されていた意見と同じです。よろしくお願いします。
249	高坂		いる	変更になると、学校の設備の差が気になります。
250	高坂		いない	グレーゾーン（選択可能）の意見に賛成です。
251	高坂		いる	行事などは少人数でやるよりも、たくさん的人数で行った方が、やる方も見る方も楽しいと思う。 白山中を無くして南中にまとめれば、ムダな税金を使わなくて済み、人件費も減り、本当に必要な子ども達のためにお金を使えるのではないかと思う。 今、校区を変えても、また10～20年後に同じ事が起こります。 子ども達は、白山中に行く事を望んでいません！！ 校区を変える事は、大人のエゴです。
252	高坂		いる	お考えに賛同致します。 委員会お疲れ様です。又、このアンケートを取りまとめてくださるPTA役員の方々にも感謝申し上げます。
253	高坂		いない	東京をはじめ、他の地域では公立でも学校を選択する事が出来る様になっています。高坂小校区でも取り入れる事が出来れば良いと思います。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
254	高坂		いる	<p>色々な情報が流れていますが、線路で通学区を区切ることが本当であれば、慎重に事を進めた方が良いかと思います。</p> <p>同じ地区が分断されてしまうところもあるので子ども会の運営も難しいとの声もあります。</p> <p>又、中学途中の切り替えに関しては、反対です。中1入学時からが適当と思われれます。</p> <p>グレーゾーンでの対応が今はベストと思います。桜山小・白山中との声があるかと思っていたのですが、情報の中では、このままの方が良いという意見も聞きました。</p> <p>1つ1つの声を拾いながらベストの選択をしていただきたい。</p>
255	高坂		いない	<p>現在の白山中のように、いずれ減少が見込まれるのが、わかりきっている学校を維持する事が必要なのかどうか？</p> <p>ムダな税金を使って欲しくないので、長期間に渡って一定人数が確保され運営されていく教育の場を作っていくって欲しいと思います。</p>
257	高坂		いない	<p>高坂小学校は東上線で分けると小学校在学のお母さんから、お話を聞きました。私どもの地区は、東上線の西側ですが、高坂小まで500mもありません。桜山小では2kmくらいです。</p> <p>家から見える小学校へ行けないのは、どうなのでしょう。急いで決めてしまわなくても、良く話し合い、高坂小と桜山小の父兄の方々が、わだかまりの無いように合併したほうが良いのでは…。</p> <p>今は、高坂小校区の不満だらけです。</p>
258	高坂		いない	<p>出来るだけ近くの学校に通わせたほうが良いと思います。</p> <p>特に、小学校は防犯等も考えたほうが良いと思います。</p>
259	高坂		いる	<p>高坂地区から白山中へ通学する生徒が大人数になってしまわないように、小学校の通学変更区域を慎重に決めて頂きたいと思います。</p>
260	高坂		いる	<p>現状のまま、南中に通わせたい。</p> <p>途中で中学が変わったり、兄弟で違う学校に行くのは困る。</p>

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
261	高坂		いる	<p>小学校は校舎の都合もあると思うので、しっかりと区切るのが良いと思いますが、中学校は、白山中、南中との区切りのライン上の方には、選択させてあげても良いと思う。</p> <p>桜山小に通っている親の方は、1年～6年生までクラスが一緒に子どもが新しい友達のつくり方、接し方がわからずにいる！！との話も聞きます。学校の事も大切ですが、子ども達の事を1番に考えてあげて欲しいと思います。</p>
262	高坂		いる	該当される方への十分な説明を希望します。
263	高坂		いない	<p>親としては、近いほうの学校に通わせたいと思うと思います。</p> <p>通学区域見直しについては賛成です。</p>
264	高坂		いない	人口増加でも南中が対応できる間は、現状のままを希望します。
265	高坂		いない	<p>今、校区を見なさなくてはならない理由は何でしょうか？</p> <p>アピタ周辺の開発により人口増で…、と聞きますが、それは一時的なものだと思います。</p> <p>南中、白山中とも、おのおの特色を持って現在までできました。</p> <p>校区見直しにより両校の特色が損なわれてしまうのであれば、少子高齢化社会が目前まで迫っている現在、段階を経るのではなく、今回この機会に統合を考えても良いのではないのでしょうか。</p> <p>又、校区見直しを行うのであれば、自分に合った学校選択という意味合いで、市内初の試みとして学校選択制を導入するのは如何でしょうか。無理だと思しますので、いずれその時は来ると思しますので、その時期が来るまで現状が良いと思います。</p>
266	高坂		いる	反対です。
267	高坂		いる	現在の事だけ考えるのではなく、未来の事（地区のこれからの開発があり、子ども達が増えていくのかどうか？ 又、子ども達は少なくなっていくのか？）を十分に検討してもらいたい。
268	高坂		いる	地区、区域の変更は仕方ないと思う。
270	高坂	ABC	いない	通学区域の変更は必要ないと思います。
271	高坂	ABC	いない	下の学年に兄弟がいる家庭など、使いまわせる物などがある場合に困る事などあると思います。

No.	地区	教委の案	小学生以下の子	意見
272	高坂	ABC	いる	反対です。
273	高坂	ABC	いる	反対です。
274	高坂	ABC	いる	住まいの地区を考えると確実に白山中になります。 子どもも白山中はイヤ、お友達と離れてしまうのはイヤ、部活動も少ないと不安でいっぱいです。 しかし、今回いただいた通学区域見直しの進捗状況の「記」を読ませていただくと、南中学校では受け入れ可能ということで安心しました。南中学校で受入れができないので通学区域の見直しがされていると思っていました。問題は高坂小学校の受入れとなるのですね。
275	高坂	ABC	いない	自宅が白山中より歩いて15分位です。南中に行くには自転車で25分なので、それを考えると白山中の方が近くて良かったのと思います。今は選択できる様なので、それで良いと思います。
276	高坂	ABC	いない	自宅から安全に通学できる道のりで、検討していただきたいです。 (南中よりも白山中の方が近い場合等…)
277	高坂	ABC	いない	南中学校の通学区域は現行通りで賛成です。ピオニウオーク周辺の人口増加はずっと続くとは思いませんので…。
279	高坂	ABC	いない	今さらって感じです。もう白山中は廃校が良いです。
280	高坂	ABC	いる	南中の通学区域は、現行通りを希望いたします。 白山中の少人数化への対応は、グレーゾーンに賛成です。
281	高坂	ABC	いる	通学区域見直しの進捗状況のお手紙に書かれていたように、南中学校は、現行通りでお願いしたいです。グレーゾーンの子も達は南中か白山中を選択できるという案も良いと思います。
282	高坂	ABC	いない	以前から、お話は存じております。私の地区は白山中・桜山小に近いので、そちらに通うこともありなのか？ と思いますが… 白山中では部活動も少なく、人数も少ない…、となると、いつも決まった顔での行動になりますよね…。子ども同士がケンカやイジメがあると、それが9年間も…。少人数でとなると、どうなるのか…？ お勉強はできるようになるけど…。大人数は、それなりに子どもも良い経験をする。選択制、良いと思います。

No.	地区	教委の案	小学生以下の子	意見
283	高坂	ABC	いる	現在4年生の子どもが実施年度には6年生になりますが、あと、1年間での学校変更はしたくないというのが親子の正直な気持ちです。また、部活動等のことも考えると、5クラスある南中学校で学んで欲しいという気持ちです。
284	高坂	ABC	いる	東松山市としては、南中と白山中の人数のバランスは、どう考えているのでしょうか？ また、学級数が減るから、できる部活が減ってしまうというのも親としては納得できません。同好会資格で作るのを許可するとか工夫が必要ではないでしょうか。
285	高坂	ABC	いる	できる事ならば、今まで通り、高坂小⇒南中のままで子どもを通学させたいと願っています。 特に中学は、手紙にあったように「ちょうど良い人数」だと思います。通学区域、現行通りで賛成です。宜しくお願ひします。
286	高坂	ABC	いない	高坂地区（最寄駅が高坂）の将来的なことを考えると、学区の見直しは必要不可欠な事だと思いますが、地区を分断する様な見直しは地区ごとの活動の妨げとなり、地区の絆が途切れてしまう気がします。又、学区の見直しが決定したとしても、現在通学している子どもも、すべて移行するやり方には反対です。 小学生は在学中に時間をかけて取り組む事は少ないと思いますが、中学生は3年間かけて部活動に取り組んでいます。仲間との絆も当然、築いていますし、3年目の成果を目標に日々努力しています。それを地域の事情で振り出しに戻してしまうのは筋が違ふと思います。在學生はそのままに、新入学時からの編入が子ども達への負担も少なくても良いと思います。通学途中での移行には、絶対反対です。
287	高坂	BC	いる	会長の意見に賛成です。
288	高坂	BC	いない	区域の皆さんの同意があれば、その意見に賛成いたします。
289	高坂	BC	いる	説明もなく変更される事に疑問を感じます。 登下校の時間がかかる為、変更にならないように希望します。
290	高坂	BC	いる	変更には納得させられる理由が無く、 また、地域にも疑問があります。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
291	高坂	BC	いる	はっきりと内容が把握できていないまま、詳しい説明なく話が進んでいるように思います。又、少し前の説明文でピオニウオーク周辺の人口増加に伴い高坂小学校の教室が不足する可能性が高いということも納得できません。私も「南中学校の通学区域は現行通りでお願いしたい」と思います。
292	高坂	BC	いる	現状のままを希望します。
293	高坂	BC	いない	対象地区ですが、入学時に「選択可能」で対応できる様になれば良いのではと思います。
294	高坂	BC	いる	中学校は選択できる様にしたら良いと思います。 地域との活動もある為、今まで通りが良い。
295	高坂	BC	いる	絶対に反対です。桜山小学校、白山中学校を何故ここまでして残したいのか。人数が少ないのなら閉校させれば良いと思います。 小学校も中学校も各学年2クラス程度しかない学校を2校ずつにしておくよりも、1校にまとめれば人数も増えるし、部活動など良い事がたくさん有ると思います。 高坂小がマンモス化すると言われていますが、1学年3～4クラスくらいでマンモス化とは、おかしい話です。昔は5～7クラスくらいあった様に思いますが無問題無かったです。高坂小の教室も、まだ足りるようなので。 桜山小、白山中の方々は、高坂小の児童が来てくれるのを心から喜んでいるというより、来るなら来ればという感じで、高坂小の人々は学校を変更したくない、無理やり変えられる、と感じています。このような両者が上手くやっていけるとは思えません。 教育委員長、東松山市長の勝手にやって欲しくありません。そんなに変更したいのなら、まだ入学していない子どもを対象にして下さい。
296	高坂	BC	いない	子どもの少ない地区では、子どもの多い地区と一緒に。 通学区域を決めていくのは大変だと思いますが、やはり、よりよい通学区域を決めていただきたく思います。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
297	高坂	BC	いない	南中の生徒数が多いとも少ないとも思いませんが、白山中の様子を聞くと南中に通うよりも白山中の方が近いという家庭もあるので、検討するのは良いことだと思います。
298	高坂	C	いる	ウワサばかりが先行して困っています。現在通っている高坂小から急に学校を変わらなさい！と言われても親子で困惑しそうです。特に子どもは、友達関係もあるので、できれば、このまま高坂小の校歌を歌い、卒業させたいと思います。 また、学区の見直しは、高坂小、桜山小、白山中だけでなく、野本、東中も視野に入れてみてはいかがでしょうか。
299	高坂	C	いる	通学区域の変更が検討され、2年後くらいと聞きました。線路より分けるとも耳にしています。白山中近い子も南中に通っているとも聞き、選択ができると良いと思います。
300	高坂	C	いる	子どもが通う学校なので、子どもにとって一番良い方法になれば。どうして平成26年度からなのか？理由がわかりません。
301	高坂	BC	いる	以前、白山中に行くという噂を聞いたことがありましたが、その時は通学路としても、わりあい南中に比べ白山は平坦だし近いと思ひ、まあいいかな？と思っていました。 いざ、子どもが南中に行くと、部活動も多いし、坂は大変だが体力も付くし、南中で良かったと思います。 初めて、我が子を中学に入れる方は、いろいろな考えがあると思いますので、最悪、選択する！というのも良いのではないのでしょうか。
302	高坂	BC	いる	高坂地区は検討が必要だと思いますが、前もっての説明会等、もっと市や教育委員会のほうから、ちゃんとして欲しいです。
304	高坂		いない	子どもの数が少なく、前からこうなる事は言われていたので、学区の変更はい方が無いことかと思ひます。 代表の方にお任せしても良いかと思ひます。
305	高坂		いる	高坂小校区の子は選択できると良いと思ひます。

No.	地区	教委 の案	小学生 以下の子	意見
454	野本		いる	少子化傾向で、どこも色々な問題をかかえている一方で、ピオニウオーク周辺のように人口増加で、また違う問題を抱えている地域もある現状。今回対象となる高坂地区の方々の積極的なご意見が反映される事を願います。
455	野本		いない	グレーゾーンの子ども達は、例えば、上の子が白山中に行ったが、下の子が南中に行きたいとなった場合、可能なのでしょうか？
456	野本		いる	野本地区は、小学校の時の地区ごとに南中と東中に、はっきり分けられていますので、高坂地区のお子さんも希望制でなく、地区別に南と白山に区分けした方が良いのではないかと思います。
457	野本		いる	子どもが通いやすい道を通れば良いと思います。
458	野本		いる	南中は現行通りで良いと思います。
459	野本		いる	うちは、南中、東中どちらも通える距離なので選択できたら良いのにと以前から思っていました。
460	野本		いる	白山中（各学年単学級）会長より「クラス替えができる程度、生徒が増えれば…」の意見もよく分かりますが、高坂地区（地元）の方は、「地区の行事等もある為、難しい」という声も聞いたことがあります。
461	野本		いない	「南中学校の通学区域は現行通りで…」で良いと思います。
462	野本		いない	今回のこちらのお知らせで初めて知りました。 うちは小学生以下の子どもが、もういないので実感としての気持ちや考えはあまりありませんが、小さいお子さんのいらっしゃるご家庭は、お困りの方もいらっしゃるのかな…と。
463	野本		いない	時間の流れとともに通学区域の変更が検討されることは、余儀ないことと思います。ただ、その際に、広い視野で柔軟な対応で検討が進められていくことを望みます。 具体的には、個々の家庭が進学校を選択できるという地域があっても良いと深く思っています。
464	野本		いる	将来的には、高坂地区の子ども（白山中に近い区域）は、変更していく必要があると思います。

No.	地区	教委の案	小学生以下の子	意見
465	野本		いる	南中は学区が広いです。部活動の練習などで（大会前などで…）延長部活をやる時期に入ると、自宅まで遠い子ども達の帰宅が心配だなあとと思います。特に、高坂の白山中に近い子どもたちの親が、何故、白山中を拒むのか、事情がよくつかめませんが、通学をする子ども達に一番の焦点を当てて、考えていけたら良いなと思います。地域の柔軟な話し合いを期待します。
466	野本		いない	南中学校の通学区域は現行通りで良いと思います。
467	野本		いない	できれば、同一小学校から繰り上がり、中学へ行ければ良いのだが、道一つで区域がわかるのも分かりますが、南中よりも東中の方が近い人もいれば、わざわざ嵐山町の方から来ている子もいると聞いているので、そのような子は、菅谷中とか、近場に行った方が良い人も、高坂でも白山に近い人もいるので、なるべく通学時間も考えてあげて欲しいと思います。
468	野本		いない	通学させるのであれば、自宅より近い学校が望ましいとは思いますが、ただ、特定地域の増加により学校の教室不足に伴い、中学校のできるのも、どうでしょうか。となり近所で違う学校へ通うことも考えられ、やはり、片寄りが出てきてしまうのではないのでしょうか。選択でなく、地図上で線を引いていった方が良いのではないのでしょうか。
469	野本		いる	高坂小校区の子ども達は、入学時に南中か白山中を選択できるという案が、とても良いと思いました。
470	野本		いる	あまりピンとこないお話でしたが、一緒に配布された文章を読んで、同感しました。よろしく願い致します。
471	野本		いない	今泉地区は、南中に行くより東中に行く方が近い子どもさんもいるので、今泉の子ども達には、選択の希望を聞いて欲しいと思います。 鳩山の小学校では、少しお金を出して、バスの送迎をしているそうです。今泉は、南中まで遠すぎると思います。
472	野本		いない	現行通りで良いと思います。

平成24年11月9日

東松山市立小・中学校
通学区域審議会委員の皆様

東松山市立南中学校PTA会長 関口 純

本校保護者の通学区域見直しに対する意見一覧の配布について

晩秋の候、審議会委員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。去る、10月24日に開催された第1回通学区域審議会では、大変お世話になりありがとうございました。

さて、私ども東松山市立南中学校PTAでは、10月9日付で保護者に対し、簡単なアンケート調査を実施いたしました。その時に配布したお手紙と保護者から寄せられた意見を一覧にまとめた資料（昨日付で保護者に配布）を同封いたしましたので、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。

以上

平成24年10月9日

保護者の皆様

東松山市立南中学校PTA会長 関口 純

通学区域見直しの進捗状況とアンケートのお願い

仲秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃よりPTA活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、7月に通学区域見直しの対象となっている4校（南中、高坂小、白山中、桜山小）のPTA会長の連名で発行した文書にて今後の予定を示し、その中で、10月頃に第1回通学区域審議会の開催のご案内いたしました。

この度、東松山市立小・中学校審議会委員17名が選出され、第1回目の審議会開催が10月24日（水）に決定いたしました。4校のPTA会長全員が委員に選ばれ、それぞれが、各校の保護者の皆様の代表者となります。

また、7月に実施したアンケートで「市教育委員会の説明会を希望する」と回答された方が520世帯中105世帯ございました。市教育委員会に問い合わせたところ、主催はできないがPTAが開催する場へ説明に出向くことはできるとのお返事をいただきました。

本来であれば、第1回目の審議会の前に保護者の皆様に対し、説明会を開催するところではありますが、日程上大変厳しく、ご参加いただける保護者の方も多くは見込めないと判断をさせていただき、この書面にて、皆様の代表となるPTA会長がどのような姿勢で審議会に臨むのかを述べさせていただくとともに、皆様におかれましては別紙のアンケートにて、ご意見などをお寄せ頂くようお願い申し上げます。

記

開校して55年の歴史を持つ南中学校。この間、東中と白山中の開校があり、若干の通学区域の変更があったものの、3つの地区の子ども達が互いに切磋琢磨し、素晴らしい学校運営がなされてきました。現在563名の子ども達がお世話になっており、この人数は「ちょうど良い人数」で、決して大規模校ではありません。この何年かの間でも学級数の減少により、書道部、男子バレーボール部、水泳部が廃部となりました。自然に人口が減少していくのであれば、それは仕方のないことと思います。しかしながら、急激な生徒数の減少は、部活動の運営に支障となる（チームが成り立たない⇒一部を廃部）など、学校運営も大きく変わることとなり、通学区域の人々に戸惑いを与えることとなります。

また、この度の通学区域の見直しの発端は、ピオニウォーク周辺の人口増加に伴う高坂小学校の教室不足とのことですが、南中学校においては、今のところ心配はありません。よって、審議会では「南中学校の通学区域は現行通りでお願いしたい」旨、意見を述べさせていただき所存でございます。

なお、本年2月に開催された教育委員会主催の4校のPTA役員に対する説明会の席で、白山中（本年度の生徒数101名、各学年単学級）会長より「クラス替えができる程度、少しでも生徒が増えれば…」との意見がありました。その点については、高坂地区在住の方からは近くの学校に通わせたいとの声も聞きますので、いわゆるグレーゾーン（現行の高坂小校区の子どもは入学時に南中か白山中を選択できる）で対応可能かと思えます。

以上

別紙

アンケート

★お住まいの地区はどちらですか？ で囲んでください。

唐子地区	石橋一	石橋二	石橋三	下唐子	青鳥上
	青鳥中	青鳥下	内青鳥	葛袋	新郷
	上唐子一	上唐子二	上唐子三	上唐子四	神戸
高坂地区	高坂一	高坂二	高坂三	高坂四	早俣
	宮鼻	正代	毛塚	大黒部	
	西本宿一	西本宿二	悪戸	後本宿	米沢
野本地区	上野本一	上野本二	下野本	向山	中妻
	金谷	谷中	上郷	青押	曲輪
	今泉	下押垂			

★小学生のお子様はいらっしゃいますか？ で囲んでください。

いない いる (1年生 2年生 3年生 4年生 5年生 6年生)

★小学校入学前のお子様はいらっしゃいますか？ で囲んでください。

いない いる

★通学区域の変更が検討されていることについて、ご意見をお聞かせください。

ありがとうございました。 10月18日(木)までに担任の先生に提出してください。